

いちよう並木の根系調査の実施について

樹木医等専門家の立ち会いのもと、本日よりいちよう並木の根系調査（以下「本調査」）に着手いたしました。計画建築物（野球場棟）の基本・実施設計前に本調査を行うことで、本事業の重要事項であるいちよう並木の保全のために必要な設計・施工上の工法等を精査できるようにいたします。

なお、調査結果は、東京都環境影響評価審議会総会にて事後調査報告を行うとともに、本プロジェクトサイト等を通じて本年春以降に公表する予定です。

■根系調査の概要

1. 調査目的

本調査の目的は、いちよう並木に隣接する計画建築物（野球場棟）建設によるいちようの根への影響を判断するために、4列のいちよう並木の西側1列について根の位置や生育状況（太さや本数等）を確認することです。

2. 調査期間

2023年1月11日～2023年1月20日頃(予定)

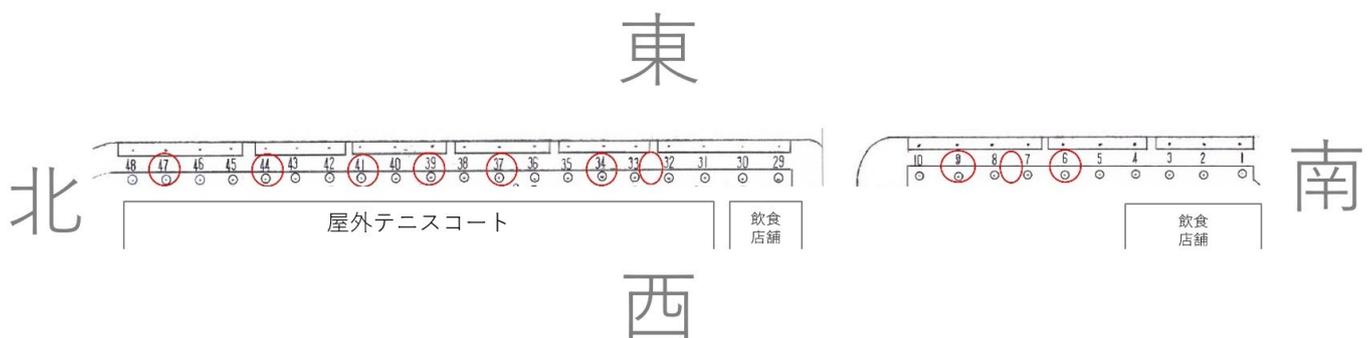
3. 調査会社

イビデングリーンテック株式会社

4. 調査対象

調査対象については、複数の樹木医から意見を聞き、立地条件や土壌条件、植栽時期等を考慮し、4列のいちよう並木の西側1列の30本のうち、建物や構造物により調査不可能な7本を除いた残り23本の約1/3にあたる8本の横及び、いちようの木の中の2か所の計10か所を調査対象といたしました。

【調査位置図】



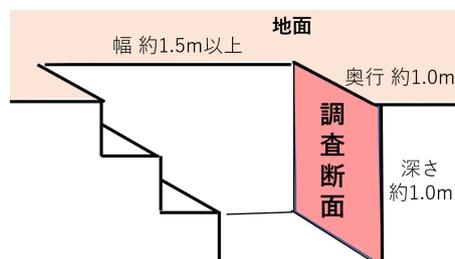
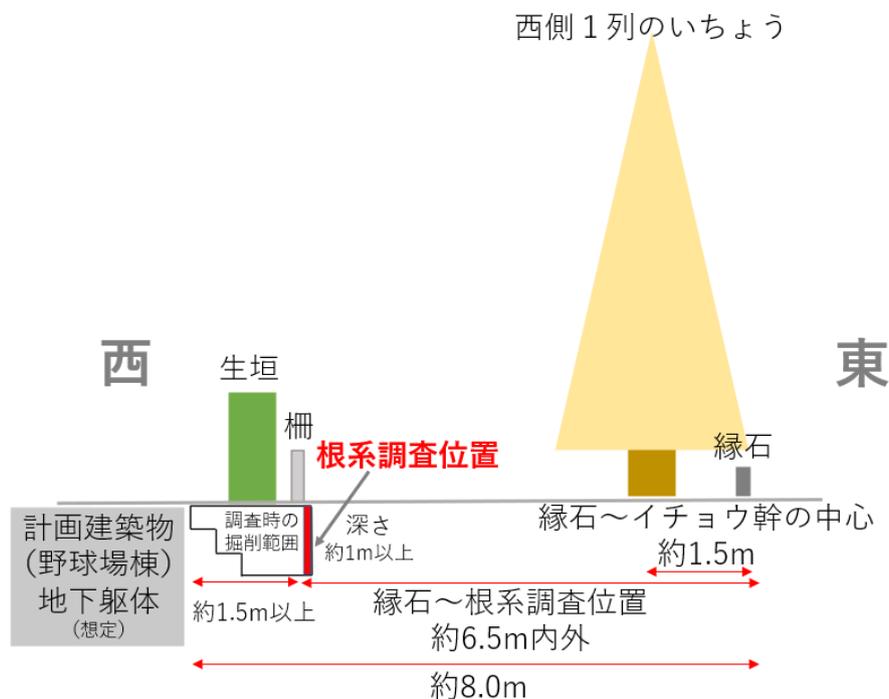
※調査対象樹木や調査位置については、地下埋設物の状況等をふまえ、変更となる可能性がございます。

5. 調査方法

歩道縁石から約 6.5m 内外※の位置で調査を実施いたします。深さ約 1.0m、奥行約 1.0m、幅約 1.5m 以上の穴を原則手掘りし、専門の樹木医・根系調査員により土壌断面における根の位置や生育状況を調査いたします。穴を掘る際には、歩道縁石から約 8.0m 地点からいちよう側に向かって掘り進め、歩道縁石から約 6.5m 内外の調査予定地点に到達する前であっても、太い根が出てきた際にはその都度、専門の樹木医・根系調査員の判断を仰ぎ、調査位置の変更も視野に入れながら進めてまいります。なお、本調査において環状剥皮を実施する予定はございません。

※約 6.5m 内外での調査の妥当性を検証するための事前調査にあたる根系表層調査を 2022 年 11 月に実施しており、その結果に基づいて「根系調査の範囲は妥当」との樹木医の見解を得ております（詳細は 3 ページ目に記載）。

【調査位置模式図】



(参考) 掘削範囲と調査断面のイメージ

6. その他

本調査に関するお問合せは、神宮外苑地区まちづくり準備室 (TEL: 03-6695-0539) まで、お願いいたします。現地では調査作業の安全管理を優先し、見学及び現地における直接のお問合せに関する対応はいたしかねますのでご了承ください。

【参考】根系表層調査の概要と結果

根系調査の事前調査として、いちょうの根系表層調査を実施いたしました。

1. 調査目的

植栽地表層のいちょうの根の太さや伸び方を把握し、根系調査予定位置（歩道縁石から約 6.5m 内外）の妥当性を確認すること。

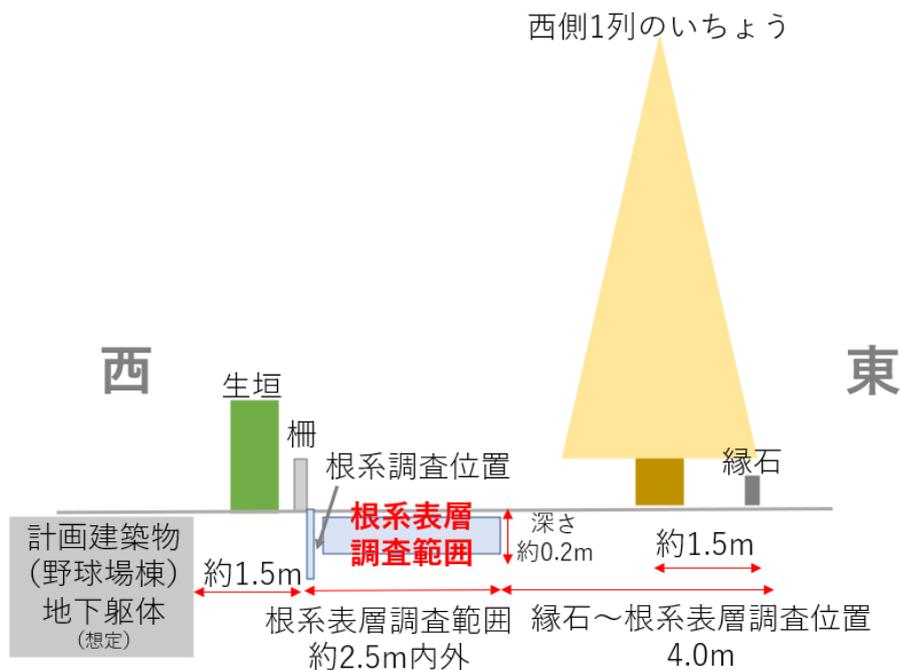
2. 調査時期

2022 年 11 月 2 日

3. 調査方法

歩道縁石から西（計画建築物方向）に向かって 4.0m から約 6.5m 内外（柵）までを調査範囲とし、調査対象の 2 か所について、奥行約 1.0m・深さ約 20 cm 程度の根を人力、およびブロワー等を用いて根を傷めないように樹木医の立ち会いのもと調査いたしました。

【調査位置模式図】



4. 調査結果

歩道縁石から 4.0m 地点から約 6.5m 内外の表層部分（深さ 20.0 cm 程度）に太い根は 1 本しか発見されず、根系調査の位置（約 6.5m 内外）は妥当であると樹木医の見解をいただいております。根系調査にて深さ約 1.0m 以上の箇所を計測することで、計画建築物（野球場棟）建設によるいちょうへの影響は十分に確認できると判断いたしました。

以上